

令和6年度

(令和6年4月1日から令和7年3月31日)

事業計画書

令和6年度事業計画

1. 事業活動方針

令和6年度は、報酬改定による訪問介護事業の報酬単価の引き下げや、市川市からの受託事業であるあんしん電話受信センター事業の終了など、収益減となる外的要因があります。在宅において必要とされるサービスの提供を維持するためには人材が欠かせず、処遇改善加算等を有効活用し職員がより働きやすい職場環境と魅力ある処遇を整備しなければなりません。これまでの経営改善の取り組みをさらに推し進めるため、組織を挙げて徹底したコストの削減とともに、さらなる増収に向けて知恵と創意工夫による取り組みが重要であり、介護支援専門員の増員、介護サポートサービスの利用範囲拡大等による新たな利用者の獲得や、戦略的かつ効果的な営業の強化等に、職員一丸となって取り組んでまいります。

(1) 第3期中期計画の推進

経営課題に積極的に取り組むため、新たに総務課に企画経営係を設置します。

(2) 重点課題

① 人材の確保、定着及び育成

介護職員初任者研修等、新たな介護人材を確保することを継続するとともに、多様性の時代に合わせた柔軟な雇用形態を整えることにより、採用の門戸を広げます。

また、令和6年6月に改正される処遇改善加算の一本化に合わせ、職員及びパート職員の給与体系の見直しを行うとともに、新たな資格取得と更新時にかかる費用助成や休暇付与等を行い、職員の定着を図ります。

さらに、人材育成においては、専門職としてのスキルアップ研修等のもとより、リーダー研修等職位に応じた研修を実施し、組織力の強化を図ります。

② ICT化の推進

介護現場における生産性の向上を目指し、パートヘルパーを含む介護職員のタブレット活用範囲の拡大、介護システムのクラウド化によるケアマネジャー業務の効率化等、ICT化をさらに進めてまいります。

③ 新規事業

市川市内の小中学校を対象に、福祉系有資格者である公社職員が講座や職場体験を実施し、子ども達が福祉・介護に関する知識を得る機会を作るとともに、介護の仕事を手近に感じることで将来の職業の選択肢のひとつとなることを目指します。

2. 事業計画

① 居宅介護支援事業

主任介護支援専門員3名及び主任を中心に、専門職チームとして社内及び関係機関との連携体制を維持していくことで、質の向上及びICT活用と専門性の業務分担により実績増に繋げ、経営の安定化を目指します。

指標	報酬単位	利用者件数 (月単位)
令和6年度目標値	322,720単位	200件
令和5年度見込	279,127単位	174件

② 介護予防ケアマネジメント事業

より収益が見込め、必要性のある介護認定を受けた方をメインに行うことにより、事業縮小となりますが、要支援の認定を受けた方々に対しては、高齢者サポートセンターとの協議連携を図りながら、生活支援・介護予防・社会参加から自立支援につながるケアマネジメントを行います。

指標	報酬単位	利用者件数 (月単位)
令和6年度目標値	2,110単位	5件
令和5年度見込	3,796単位	8件

③ 介護予防支援事業

より収益が見込め、必要性のある介護認定を受けた方をメインに行うことにより、事業縮小となりますが、要支援の認定を受けた方々に対しては、高齢者サポートセンターとの協議連携を図りながら、介護予防の視点でのケアマネジメントを行い、サービスを利用することで自立支援につながるケアマネジメントを行います。

指標	報酬単位	利用者件数 (月単位)
令和6年度目標値	2,652単位	6件
令和5年度見込	11,497単位	26件

④ 要介護認定調査事業

福祉公社契約利用者と、契約利用者以外の要介護認定調査も継続的に行うことで、限られた時間内で対象者の持つ様々な側面を的確にアセスメントする技術を高めていきます。

指標	市川市内	他市町村 (月単位)
令和6年度目標値	12件	1件
令和5年度見込	7件	1件

⑤ 訪問介護事業

i) 西部ヘルパーステーション

居宅介護支援事業所や関係機関と連携を図り、「住み慣れた我が家での生活を続けていきたい」というご利用者のニーズや身体状況等の変化に応じたサービス提供に努めます。夜間対応型訪問介護事業を展開している巡回ヘルパーステーションと共に地域に選ばれる事業所を目指します。

指標	報酬単位	利用者件数 (月単位)
令和6年度目標値	764,812単位	142件
令和5年度見込	644,496単位	116件

ii) 南部ヘルパーステーション

居宅介護支援事業所や関係機関との連携を強化し、ご利用者の変化やニーズに迅速に応える対応力と専門職としての提案力を持ち、地域で信頼され必要とされる事業所を目指します。

指標	報酬単位	利用者件数 (月単位)
令和6年度目標値	370,496単位	64件
令和5年度見込	318,554単位	60件

iii) 北部ヘルパーステーション

ご利用者が安心して在宅生活を継続できるよう、関係機関と密に連携をとりながら、より良いサービスを提供できるよう努めます。また、ご利用者やご家族に寄り添い、ニーズに対して適切な支援を提供することで、地域から選ばれる事業所を目指します。

指標	報酬単位	利用者件数 (月単位)
令和6年度目標値	558,927単位	127件
令和5年度見込	487,731単位	102件

⑥ 介護予防訪問型サービス(総合事業)

i) 西部ヘルパーステーション

ご利用者が住み慣れた地域で安心した日常生活を続けていけるよう、高齢者サポートセンターや居宅介護支援事業所と連携を図り、自立支援や重度化防止に向けたサービス提供に努めます。

指標	報酬単位	利用者件数 (月単位)
令和6年度目標値	57,030単位	30件
令和5年度見込	47,187単位	25件

ii) 南部ヘルパーステーション

自立支援・重度化防止を目標に協働することで、住み慣れた地域でご利用者が望む在宅生活を実現できるようサービス提供します。

指標	報酬単位	利用者件数 (月単位)
令和6年度目標値	51,270単位	30件
令和5年度見込	52,984単位	26件

iii) 北部ヘルパーステーション

高齢者サポートセンターや居宅介護支援事業所と連携を密にとり、ご利用者のニーズが自立支援や重度化防止に近づけられるようなサービス提供を目指します。

指標	報酬単位	利用者件数 (月単位)
令和6年度目標値	70,896単位	42件
令和5年度見込	59,768単位	35件

⑦ 夜間対応型訪問介護事業

市内の夜の安心をサポートしている事業所として、24時間安心してその人らしい在宅生活が継続できるよう、定時及び緊急時の訪問や連絡、相談を受け、特に日中の緊急訪問は、西部ヘルパーステーションと連携を図り、ご利用者のニーズに迅速に応えられるよう努めます。

指標	報酬単位	利用者件数 (月単位)
令和6年度目標値	340,260単位	105件
令和5年度見込	278,466単位	90件

⑧ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業

住み慣れた地域でその人らしい生活が送れるように、日中は生活リズムに沿ったサポートを行い、夜は安心して休んで頂けるようにご利用者の状況に合わせたサービス提供に努めます。夜間対応型訪問介護同様、特に日中の緊急訪問は、西部ヘルパーステーションと連携を図り、ご利用者のニーズに迅速に応えられるよう努めます。

指標	報酬単位	利用者件数 (月単位)
令和6年度目標値	192,189単位 (3.4)	8件
令和5年度見込	158,700単位 (4.7)	5件

⑨ あんしん電話受信センター運営事業 (受託事業)

市川市より委託を受け、65歳以上の独居、高齢者世帯または障がい者に対し、あんしん電話を設置し、通報内容に応じた救急車の要請、支援員の派遣、その他多岐にわたる相談業務を実施します。なお、当事業は令和6年12月末日をもって終了となります。

⑩ 緊急時支援員派遣制度事業（受託事業）

あんしん電話の設置者の中で要件を満たし、契約を締結したご利用者から通報があった場合に、18時～翌朝8時までの間に支援員を派遣します。なお、当事業は令和6年12月末日をもって終了となります。

⑪ 計画相談支援事業

住み慣れた地域の中で安心して暮らしていけるよう、日常生活全般に関して抱えている課題を整理し、ご利用者及びご家族と共に必要な支援を受けられるようプランを作成します。

指標	報酬単位	利用者件数（月単位）
令和6年度目標値	95,590単位	55件
令和5年度見込	101,727単位	60件

⑫ 障害児相談支援事業

児童が地域の中で健やかに成長できるよう、抱えている課題を整理し、ご利用者及びご家族と共に将来を見据え、必要な支援を受けられるプランを作成します。

指標	報酬単位	利用者件数（月単位）
令和6年度目標値	9,470単位	5件
令和5年度見込	11,605単位	6件

⑬ 居宅介護・同行援護事業

i) 西部ヘルパーステーション

ご利用者がお住いの地域で安心して日常生活を過ごせるよう、夜間担当の巡回ヘルパーステーションと共に計画相談支援事業所等との連携を密に図り、ご利用者やご家族のニーズを踏まえ自立支援に向けたサービス提供に努めます。また、同行援護については、事業休止後も依頼はなく、昨年度、事業廃止しています。

指標	報酬単位	利用者件数（月単位）
令和6年度目標値		
・居宅介護	495,625単位	65件
・同行援護		廃止
令和5年度見込		
・居宅介護	443,845単位	57件
・同行援護		廃止

ii) 南部ヘルパーステーション

ご利用者が地域でいきいきと自立した生活や就労が継続できるよう、個々の障がいの特徴を理解し、共に考え、関係機関と連携を図りながらサービス提供します。

指標	報酬単位	利用者件数 (月単位)
令和6年度目標値		
・居宅介護	182,234単位	43件
・同行援護	42,889単位	7件
令和5年度見込		
・居宅介護	177,762単位	43件
・同行援護	45,640単位	7件

iii) 北部ヘルパーステーション

ご利用者やご家族のニーズに対応できるよう積極的に提案し、ご利用者をご自宅で生活が継続できるよう、相談支援事業所と連携を図りながら、自立支援に資するサービスを提供します。同行援護につきましては柔軟にご希望に対応します。

指標	報酬単位	利用者件数 (月単位)
令和6年度目標値		
・居宅介護	381,205単位	55件
・同行援護	4,512単位	2件
令和5年度見込		
・居宅介護	381,911単位	55件
・同行援護	5,582単位	3件

⑭ 養育支援訪問事業 (受託事業)

市川市より委託を受け、養育者の体調不良等により育児や家事を行うことが困難な時にヘルパーが訪問し、安心した育児生活ができるよう支援します。

⑮ 介護サポートサービス事業

制度を補完し、ご利用者の生活の困りごとを支援するサービスとして喜ばれる事業を目指します。ニーズや地域資源の状況を精査し、令和6年2月に「ふくふく」の事業内容・利用料金の改定を行いました。産後家庭支援事業の休止に伴い、今年度は「ぴよぴよ」を廃止し、緊急通報対応や報酬改正など「いきいき」の見直しを行います。

(ふくふく)

指標	活動時間	利用者件数 (月単位)
令和6年度目標値	3,240分	36件
令和5年度見込	3,920分	32件

(いきいき-制度相当)

指標	活動時間	利用回数	(月単位)
令和6年度目標値	120分	2回	
令和5年度見込	120分	2回	

(いきいき-非該当)

指標	活動時間	利用回数	(月単位)
令和6年度目標値	120分	2回	
令和5年度見込	120分	2回	

(プラスワン)

指標	利用回数	(月単位)
令和6年度目標値	廃止	
令和5年度見込	4回	

(ぴよぴよ)

指標	活動時間	利用者件数	(月単位)
令和6年度目標値		廃止	
令和5年度見込	30分	1件	

(りんりん)

指標	利用者件数	(月単位)
令和6年度目標値	1件	
令和5年度見込	1件	

⑩ 地域包括支援事業 高齢者サポートセンター八幡 (委託事業)

i-a) 地域包括支援センター運営事業

地域に根付いた総合窓口として高齢者等が、「自分らしい暮らし」を営めるよう市川警察署や保健所などの関係機関や、医療機関・薬局等と継続連携して、変化に対応した必要な援助をしていきます。

また、権利擁護イベントや家族介護教室・介護者相互の交流会等で介護方法の周知に努めます。状態の維持・改善を目的とした教室を地域と共生しながら生活支援・介護予防・社会参加の支援体制作りを実施することで、地域包括ケアシステムの実現を目指していきます。

担当地区 : 八幡・南八幡

i-b) 介護予防ケアマネジメント事業 (包括的支援事業)

委託先の居宅介護支援事業所との連携を図りながら、要支援・要介護状態になるおそれのある担当地区高齢者に対し、訪問型及び通所型サービス、基準緩和型通所サービスや地域資源等を活用して、生活機能の維持向上を目指したケアマネジメントを介護予防支援事業と連動して行います。

指標	報酬単位	利用者件数 (月単位)
令和6年度目標値	29,784単位	68件
	〔直営：12,264単位 委託：17,520単位〕	〔28件 40件〕
令和5年度見込	26,718単位	61件
	〔直営：9,636単位 委託：17,082単位〕	〔22件 39件〕

i-c) 介護予防支援事業 (指定介護予防支援事業)

委託先の居宅介護支援事業所との連携を図りながら、要支援の認定を受け介護保険サービスの利用を希望された方々に対し、効果的かつ効率的な生活支援・介護予防・社会参加につながる生活機能の維持向上を目指したケアマネジメントを介護予防ケアマネジメント事業と連動して行います。

指標	報酬単位	利用者件数 (月単位)
令和6年度目標値	48,618単位	111件
	〔直営：12,264単位 委託：36,354単位〕	〔28件 83件〕
令和5年度見込	42,924単位	98件
	〔直営：8,322単位 委託：34,602単位〕	〔19件 79件〕

ii) 認知症地域支援推進員・生活支援コーディネーター

事業3年目として、市及び関係機関と効率よく連携を図りながら、同事業を実施する高齢者サポートセンターと協力し、地域の障がい事業所等と認知症カフェの企画・運営、社会的理解を深められる普及啓発活動をします。地域の特性を生かしながら、認知症の悪化防止のための支援を実施します。生活支援コーディネーターは市及び関係機関との連携を図りながら、市主催の会議参加や地域ケア会議の運営に携わり、地域の資源作り支援を実施します。なお、令和6年度より認知症地域支援推進員と生活支援コーディネーターは兼務となります。

⑰ 介護職員初任者研修事業 (旧：2級ヘルパー養成研修事業)

訪問介護員の不足は国の重点課題にもなっており、福祉公社においても年々深刻な問題となっていることから、訪問介護員の人材確保のため、年2回実施します。

指標	受講者数
令和6年度目標値	20名
令和5年度見込	0名

⑱ ペーパーヘルパーチャレンジ講座

人材不足解消策として、潜在する介護資格保有者の掘り起こしを目的とし、開催地域と開催日を設定、現場で使用している福祉用具を用いて、受講生の希望に柔軟に対応できる受講内容と参加しやすい体制で実施します。

指標	開催回数
令和6年度目標値	年6回
令和5年度見込	年4回

⑲ 入門的研修事業（受託事業）

市川市より委託を受け、介護未経験者に対し、介護に関する基本的な知識や技術を学んでもらい、終了後に介護分野への参入のきっかけ作りとして、介護業務に対し多様な人材の参入促進を図ります。

指標	開催回数
令和6年度目標値	年3回
令和5年度見込	年2回

⑳ 出前講座

市川市内の小中学校を対象とし、「多様な他者の考えや立場を理解し協働する力」を身につける一助となること、また、福祉・介護を身近な職業としてとらえ将来就く職業の選択肢のひとつとなることを目的として、公社職員が講師となり、高齢者や障がい者の理解を深める出前授業や職場体験を実施します。